

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 理科		科目名 理数化学		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
(7月) 3章 酸化還元反応 1章 物質の状態 と平衡	3章3節 酸化還元反応の 起こりやすさ 4節 身の回りの 酸化還元反応 1章1節 状態変化 2節 固体の構造	・金属のイオン化傾向と反応性の違いを理解し、実用電池や電気分解など、その説明を科学的に表現できる。 ・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。	・実用電池や金属の製錬を論理的に考察し、科学的に判断できる。 ・物質の状態変化について、粒子の運動が関係していることを論理的に判断でき、状態間の平衡について、気液平衡や蒸気圧を例に考察できる。	・金属の溶解、実用電池の利用に興味をもち、共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。
(10月) 1章 物質の状態 と平衡	1章3節 気体の性質 4節 溶液	・気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 ・溶液の性質の法則性、コロイド溶液に関する事象について理解し、知識を身につけている。	・気体の法則、希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。	・気体や希薄溶液が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。
(12月) 1章 物質の状態と平衡 2章 物質の変化と平衡	1章4節 溶液 2章1節 化学反応と 熱・光エネルギー	・化学反応における熱や光の出入りは、化学エネルギーの差から生じる事を理解している。 ・ヘスの法則について理解している。	・化学反応に伴ってエネルギーの出入りがあることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現することができる。	・化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあることを意欲的に探究・考察しようとする。
(3月) 4章 有機化合物	4章1節 有機化合物と その構造 2節 脂肪族炭化水素 3節 酸素を含む 脂肪族化合物	・有機化合物の成分元素の確認や組成式・分子式・構造式の決定について理解している。 ・有機化合物の性質や反応について実験の基本操作を習得するとともに実験器具の扱い方が身についている。	・炭化水素、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、構造異性体、鏡像異性体などを論理的に考察し、説明することができる。	・有機化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。 ・有機化合物について日常生活と関連させて探究しようとする。
主な評価方法		定期考査、提出物など	定期考査、提出物など	定期考査、出席状況など
その他				